

情報連絡員総括表（2024年5月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 60名 : 回収率 100.0%)

○2024年5月のDI値は、前月との比較において、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」の6指標が悪化。その他2指標が改善した。雇用人員は6.6ポイント改善されたものの、DI値はマイナス10.0ポイントであり、依然マイナスを記録するなど厳しい状況に置かれている。また、「設備操業度」は16.7ポイント悪化し、DI値はマイナス33.4を記録した。業界の景況は6.7ポイント改善しているが、DI値において、「販売価格」「在庫数量」以外は全てマイナスを記録するなど、業界の景況は厳しい状況が続いているといえる。

○「製造業」では、前月との比較において「資金繰り」「雇用人員」の2指標が改善され、その他6指標が悪化した。輸送用機械器具においては、労務費の上昇を理由とした価格改定が進んでいるものの、人材確保・育成に大きな課題を抱えている。しかしその反面、組合員の中でも比較的小規模企業については既に廃業、又は廃業を検討しているなど資材費等の高騰に加え、人件費の上昇も続く見込みであり、収益状況の改善に向けた打開策を検討する必要がある。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「在庫数量」「取引条件」「雇用人員」の4指標が改善し、2指標が横ばい状態、「販売価格」が悪化した。売上高が対前年比で上回っても、その分人件費や原材料の高騰が続いていることから、収益の確保につながっていない業界が多い。総合工事業においては、土木工事の発注は順調であるが、建築工事（特に新築）は、落ち込んでおり、業界全体での受注量は減少傾向にある。宿泊業では、新型コロナウイルスが5類に変更され、初のゴールデンウィークを迎えたことにより、対前年比での宿泊人数・売上ともに大幅に上昇しているが、コロナ前と比較するとやや停滞気味である。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年5月	-5.0	0.0	30.0	-3.4	-21.6	-11.7	-33.4	-10.0	-21.7
2024年4月	1.7	-2.3	41.6	-3.3	-18.3	-15.0	-16.7	-16.6	-28.4
増減	-6.7 ↓	2.3 ↓	-11.6 ↓	-0.1 ↓	-3.3 ↓	3.3 ↑	-16.7 ↓	6.6 ↑	6.7 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2024年5月	-30.0	-20.0	ポイント	↘	20.0	6.7	ポイント	↑	-5.0	-6.7	ポイント	↘
	2024年4月	-10.0				13.3				1.7			
在庫数量	2024年5月	6.6	6.6	ポイント	↘	-14.3	-7.2	ポイント	↑	0.0	2.3	ポイント	↘
	2024年4月	0.0				-7.1				-2.3			
販売価格	2024年5月	30.0	-6.7	ポイント	↘	30.0	-16.7	ポイント	↘	30.0	-11.6	ポイント	↘
	2024年4月	36.7				46.7				41.6			
取引条件	2024年5月	-10.0	-6.7	ポイント	↘	3.3	6.7	ポイント	↑	-3.4	-0.1	ポイント	↘
	2024年4月	-3.3				-3.4				-3.3			
収益状況	2024年5月	-33.3	-6.6	ポイント	↘	-10.0	0.0	ポイント	-	-21.6	-3.3	ポイント	↘
	2024年4月	-26.7				-10.0				-18.3			
資金繰り	2024年5月	-13.4	6.6	ポイント	↑	-10.0	0.0	ポイント	-	-11.7	3.3	ポイント	↑
	2024年4月	-20.0				-10.0				-15.0			
設備操業度	2024年5月	-33.4	-16.7	ポイント	↘					-33.4	-16.7	ポイント	↘
	2024年4月	-16.7								-16.7			
雇用人員	2024年5月	-16.7	10.0	ポイント	↑	-3.3	3.4	ポイント	↑	-10.0	6.6	ポイント	↑
	2024年4月	-26.7				-6.7				-16.6			
業界の景況	2024年5月	-33.4	-6.8	ポイント	↘	-10.0	20.0	ポイント	↑	-21.7	6.7	ポイント	↑
	2024年4月	-26.6				-30.0				-28.4			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
	繊維工業	0	1	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	木材・木製品	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0
	一般機器	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	1
	電気機器	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
	輸送用機器	2	3	2	1	3	0	1	1	1	3	0	1	1	2	1	1	1	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	X					
	小売業	2	2	0	1	2	1	0	2	0	4	0	3						
	商店街	2	2	0	2	2	2	0	1	0	1	0	0						
	サービス業	3	0	X				3	0	2	0	2	0					1	0
	建設業	2	1					1	0	0	0	2	1					0	1
運輸業	3	0	X				3	0	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	

3.情報連絡員からの報告

製造業

パン	・原材料高騰と原価管理を図るため、使用原材料の価格変動に合わせて商品グループごとに値上げを行っている。一斉値上げではないので売り上げへの影響は最小限となっている。
織物業	・来年度のゆかたの受注が入りだしてきた。織屋の設備台数の減少で受注先も平準化して発注をかけてきている。正絹物は堅調な動きで推移、しばらくはこの状態が続くと思われる。
製材・木製品	・木材製品の需要については好転の兆しがなく、工場の機械操業率は低いままである。
骨材・石工品等	・先月同様売上が前年同月より減少し、それに伴い収益状況も悪化している。在庫数量も先月同様、減少している社がある。
生産用機械器具	・生産状況は依然と厳しい状況が続くそうだが、親会社の5月度の産業機械や超精密加工機の受注が昨年より多少の増加がみられる。不透明な状況の中であるが期待したい。
電気機械器具	・白物家電の4月の業界統計では、全体の出荷金額が4か月ぶりにプラスとなった。4月の気温が高く好調だったエアコンがけん引した。 ・5月の大型冷蔵庫とエアコンの生産状況は、販売数量と価格のバランス重視によりマイナスとなっているため、組合員は人員調整と損益確保に苦心している。
輸送用機械器具	・受注部品によって繁閑の差はあるものの、全体としては生産量は安定してきている。労務費の上昇による価格改定も徐々に進んできているが、人材の確保・育成が最大の課題となっている。 ・材料高・資源高等あらゆるものが高騰する中、人件費も今後相当な負担になる。中小企業は正に、存亡の危機を迎える時代となっており、組合員の中でも比較的小規模企業が既に廃業、また廃業を真剣に検討している。中小企業も時代に合わせた改革が必要だが、アメリカのような高賃金体制は、非常に不安定な労働環境であるという点を、指摘させて頂く。

非製造業

セメント卸売業	・公共工事の発注遅れや天候不順で、需要低迷が続く過去最低の出荷量となり、先行きは不透明である。
鮮魚小売業	・売上高は上回ったが、原材料・人件費等すべての経費の上昇が続いており、収益面が大変厳しい状況である。また、人材も不足しており、募集はしているが厳しい状況である。
燃料小売業	・燃料油激変緩和事業補助金が9月まで延長されることとなった。しかしながら出口戦略についてはなにひとつ決められておらず、注意深く見ていきたいと思う。
野菜・果実小売業	・気候等の影響により、青果物が全体的に不足しており高値で推移した。高値の青果物の売れ行きも芳しくなく、収益状況は悪化している。
各種商品小売業	・プレミアムデジタル商品券(プレミアム率25%)の使用が5月10日より始まった。店舗での売り上げ増加を期待したい。 ・5月は月初のG・Wと月末の誕生祭があり、全体的に客数が多く、売上も好調に推移した。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比122.2%と増加した。イベントを開催したことによる好影響で、平日の稼働率が上がった。また、グループの昼食利用も増えている。 ・ゴールデンウィークを中心に宿泊人数・売上ともに対前年比で増加しているが、コロナ前の2019年比較では人数及び予約件数で10~15%減となっている。物価高騰などの影響でゴールデンウィーク後は日本人客の予約がやや停滞気味だが、インバウンド予約が好調で平日予約の平準化に繋がっている。
総合工事業	・土木工事は5月に入り順調に発注されているが、建築工事の新築は依然落ち込んだままである。改修・リフォーム工事の発注は多いが、予算的に厳しい状況が続いている。 ・決算月が3月の為、仕掛かり工事があがってきたことで売上高が増加している。業界全体では、仕事量が少なくあまりいい傾向とはいえず。
職別工事業	・物価の影響もあるのか、工事契約が進まない様子で、決まった工事も着手できない状況。夏以降は繁忙期を迎える予定だが、例年より2か月ほど遅れが出ている。契約に関しては現状維持が続いている。
道路貨物運送業	・全国企業倒産データによれば倒産件数は前年同月比で12%増加しているが、負債総額は前年同月比で3.5%減少している。特に運送業の倒産が大幅に増加しており、倒産増加の主な要因は・物価高と燃料費の高騰・人手不足、価格転嫁の難しさ。これらの要因が運送業界における倒産増加の背後にある構造的な問題となっている。 ・従業員の給与引き上げが政府推奨の物価上昇による賃上げでしたが、今では離職防止の為に賃上げになりつつある。これから更にインフレが進むと、追加の賃上げをお願いせざるを得なくなる状況となる。
道路旅客運送業	・昨年9月に実施した運賃改定の影響もあってか、前年同期の運送収入の比較では5.4ポイント改善したものの、輸送人員は2.3ポイント減少している。これを長期的に見た場合、運送収入の減少につながらないか懸念される。観光地などではインバウンドが好調との声も聞かれるが、タクシー事業に関してはあまり影響が感じられないようである。ドライバー不足の状況については地域によって違いがあるものの、供給力を強化するためにさらなる人材確保対策が重要と考えられる。

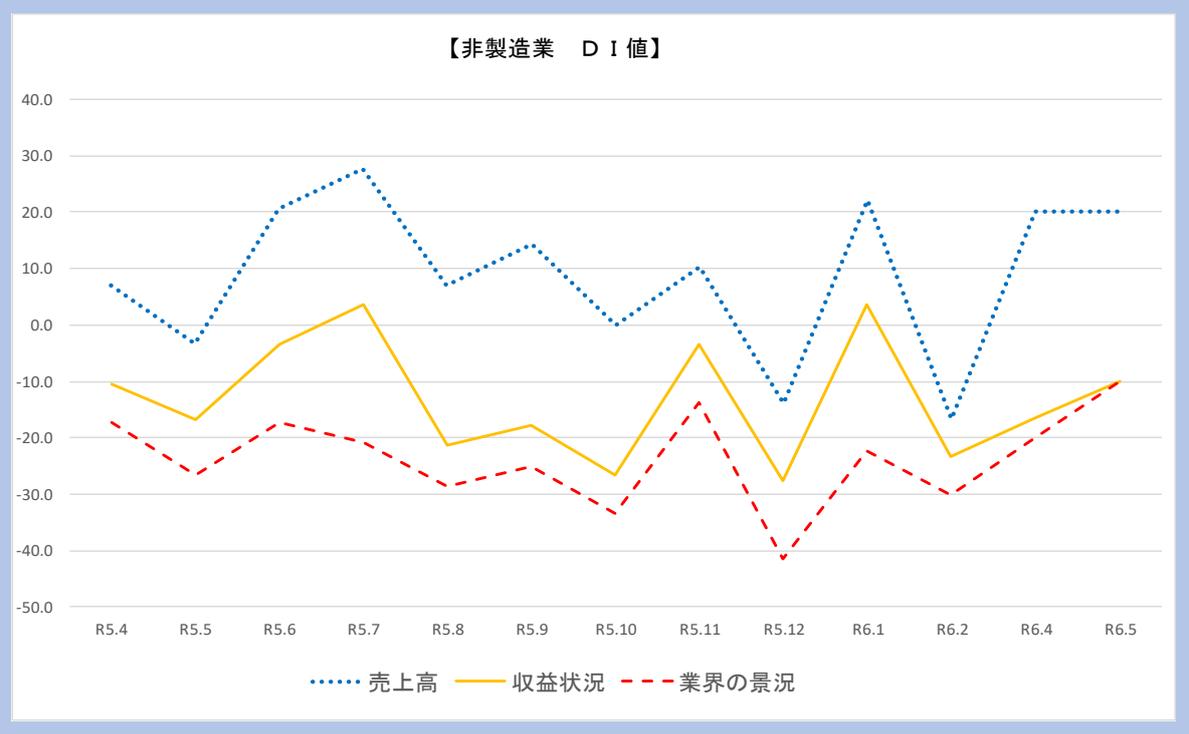
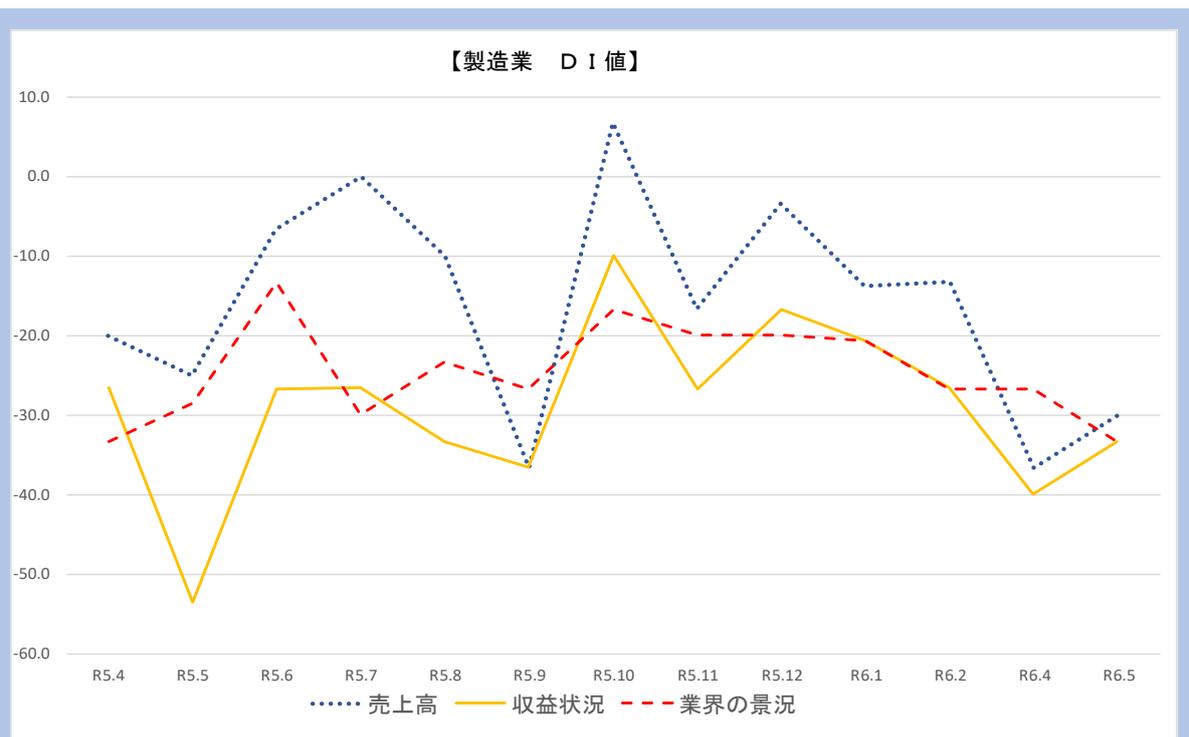
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年5月期～2024年5月期までの推移

全体	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5
売上高	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0
収益状況	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6
業界の景況	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7

製造業	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5
売上高	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0
収益状況	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3
業界の景況	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4

非製造業	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5
売上高	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0
収益状況	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0
業界の景況	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0



■ 2023年5月期～2024年5月期までの推移

売上高	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5
製造業	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0
非製造業	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0

収益状況	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5
製造業	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3
非製造業	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0

業界の景況	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5
製造業	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4
非製造業	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0

